



校長通信

令和3年度17号 令和3年12月6日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《河北地区子どもを育てる協議会 講演会が開催されました！》

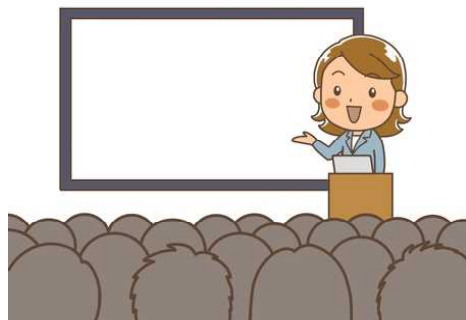
12月3日（金）午後7：00～8：00、本校多目的室で、河北地区子どもを育てる協議会の講演会が開催され、校区内の連合自治会長さんをはじめ、地域の各種団体の方々、小・中学校の育友会、教職員が参加しました。

河北地区子どもを育てる協議会は、河北地区内に在住する保育園・幼稚園・小中学校の幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の向上、そして保護者の啓発を目的として、昭和60年に発足され、事務局を河北中学校に置いています。

例年この時期に、講演会が実施されています。今回の講師は、NPO 法人子どもの生活支援ネットワーク「こ・はうす」で事務局長をされている方で、「居場所で育つ子どもたち」と題して、子ども食堂の取組を中心にお話いただきました。

「こ・はうす」では、子どもも大人も含めて、みんなでみんなを育てようという精神のもと、子どもに食事を提供したり、ゲームをしたり、コミュニケーションを取りながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくり、地域交流の場づくりを行っているそうです。

講師先生のお話を聞き、食事を通して、会話を通して、人と人が触れ合うこと、つながることの大切さを改めて実感しました。講師先生、貴重なお話、ありがとうございました。また、ご参加いただいた方々も、週末の夜、お疲れのところ参加いただき、ありがとうございました。



《マグニチュード5.4の地震発生》

12月3日午前9時28分頃、紀伊水道を震源とするマグニチュード5.4の地震が発生しました。和歌山市は震度3でしたが、緊急地震速報が鳴り響き、1限目の授業中でしたが、生徒は、瞬時に机の下にもぐり、落ち着いて自分の身を守っていました。揺れが落ち着き、しばらくして、津波の心配なしの発表を受け、通常の授業に戻りました。

避難訓練の成果もあって、生徒の取った素早い行動は、見事でした。地震は、予想できない自然災害です。もっと大きな揺れが生じた時も、落ち着いて、冷静に避難できるよう日頃から備える必要があります。各ご家庭でも、地震への備え、まずは、命をしっかりと守るための適切な行動について、話合っただけいたらと思います。

御坊市は、今回の地震で、震度5弱を観測しました。市役所の窓が割れたり、御坊中学校では、更衣室として使っている教室の天井パネルが落下しました。夜、TBSの報道ステーションを見ていると、御坊中学校の様子が流れ、校長がコメントしていました。私が県教育委員会で勤務していた頃、彼は御坊市教育委員会で勤務していて、連携して、よく一緒に仕事をしました。かつての仕事仲間の姿に、懐かしく思ったのと同時に、生徒さんにけががなく本当に良かったと、つくづく感じました。